

地域包括支援センター坂下通信

認知症の人が住んでいる世界を理解するシリーズ⑪

認知症の方の症状は人それぞれです。徘徊や暴言など激しい行動が出る反面、意欲の低下や元気がなくなるといった症状がでる場合もあります。

元気がなくなる症状として、「食欲低下・拒食」「自発性の低下」「関心の低下」「抑うつ状態」などがあります。今回は食欲低下について考えてみたいと思います。

認知症による食欲低下に加えて色々な原因が考えられます。

①口の中の問題

歯や歯茎の痛み、入れ歯の不具合などがあっても周りの人に伝えられない。

②食べやすい姿勢

椅子やテーブルの高さ等、本人にとって食べにくい姿勢になっていないか。

③体調不良

発熱、だるさなどがあっても伝えることができない。

④視野の狭窄（認知症の進行によって視野が狭くなることがあります）

料理が見えていない。

⑤便秘

お腹がはって苦しくて食べられない。

⑤味覚の変化・食べにくさ

味の好み、嫌いなメニュー、食事の温度、刻みやペーストなど食べやすい形。



認知症の症状は周りの人の接し方や環境などあらゆる要因が影響しています。

食欲低下の要因と思われることに対応して、楽しい雰囲気の中で食事ができるといいですね。



地域包括支援センター坂下

春日井市神屋町1306-1

☎：93-1314

開所時間：月～金曜日 9:00～17:30

出前講座開催、福祉サービス等の



ご相談は 左記まで

担当：永杉、飯田、戸田、杉山

地元のお元気さん

このコーナーでは、毎回地域で活動している団体やグループ、介護予防に取り組んでいる方などをご紹介します。

ネオポリス高年会



今月は、ネオポリス高年会をご紹介します。ネオポリスは昭和45年に造成された新興住宅地で、ネオポリス高年会は48年に子ども会と共に発足し、老人クラブの活動の他、公園の清掃や花壇づくり、登下校の見守り、防犯パトロール等自治会の活動にも積極的に協力されています。高齢化率が高い坂下中学校区の中でも特に高齢化している地域ですが、高年会のお元気な方々が中心となって、地域を支える活動をされています。

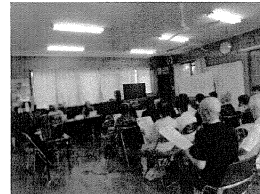
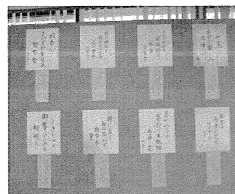
会員は6月現在101名（男性52名・女性49名）です。毎月福祉の里レインボープラザで例会を開催しています。例会ではネオポリス高年会だよりを発行し、医療や健康、消費生活等の講座を開催しています。

クラブ活動としてはネオポリス集会所で「カラオケクラブ」「詩吟クラブ」「俳句クラブ」「懐メロクラブ」3号公園では「グランドゴルフ同好会」が活動しています。

また、坂下いきいきクラブでは、年2回の親睦旅行と年3回のグランドゴルフ大会にも参加して、会員同士の交流を図っています。

高年会会長の金田様より一言

地域の高齢者がお互いに交流を深め有意義な生活を送る為の活動をしています。高年会で頼れる仲間ができ、生きがいや健康のために地域の事業に参加したり、会員同士で趣味のサークル活動などを楽しんでいます。会員同士の交流から地域のネットワークがでることで、ネオポリスがより住みやすい地域になると思います。



クラブ活動で楽しく交流。これからもお元気な活動を紹介していきます

地域包括支援センターとは？

地域包括支援センターは、春日井市の委託により運営される高齢者に関する総合相談機関です。支援が必要な高齢者やその家族の状況に応じた各種の保健福祉サービスが総合的に受けられるよう、情報提供や関係機関との連絡調整などを行います。相談は無料です。お気軽にご相談ください。

